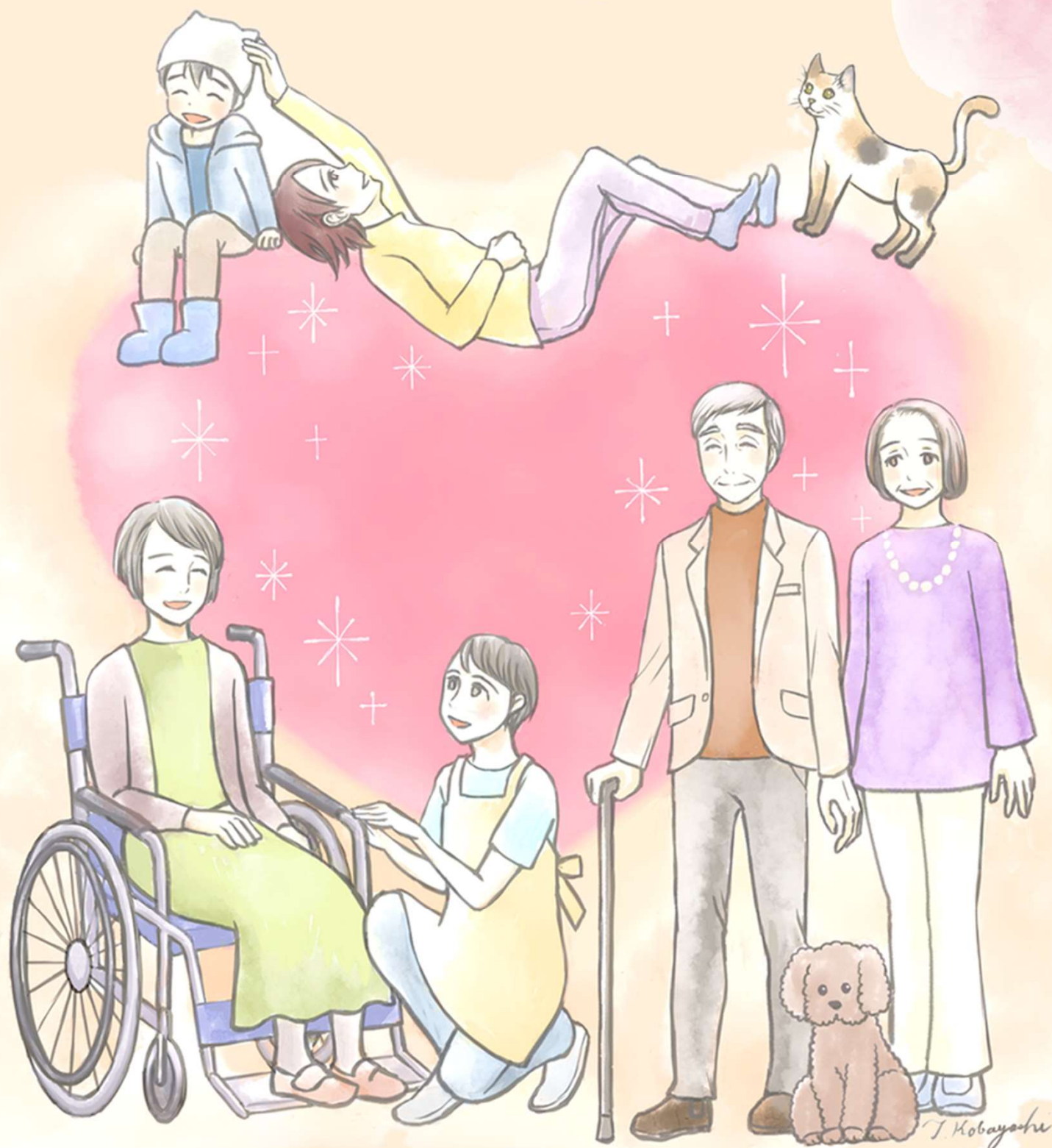


iSupport-J研究

認知症の人を介護している方へ



国立研究開発法人

国立精神・神経医療研究センター

National Center of Neurology and Psychiatry

iSupport-Jとは

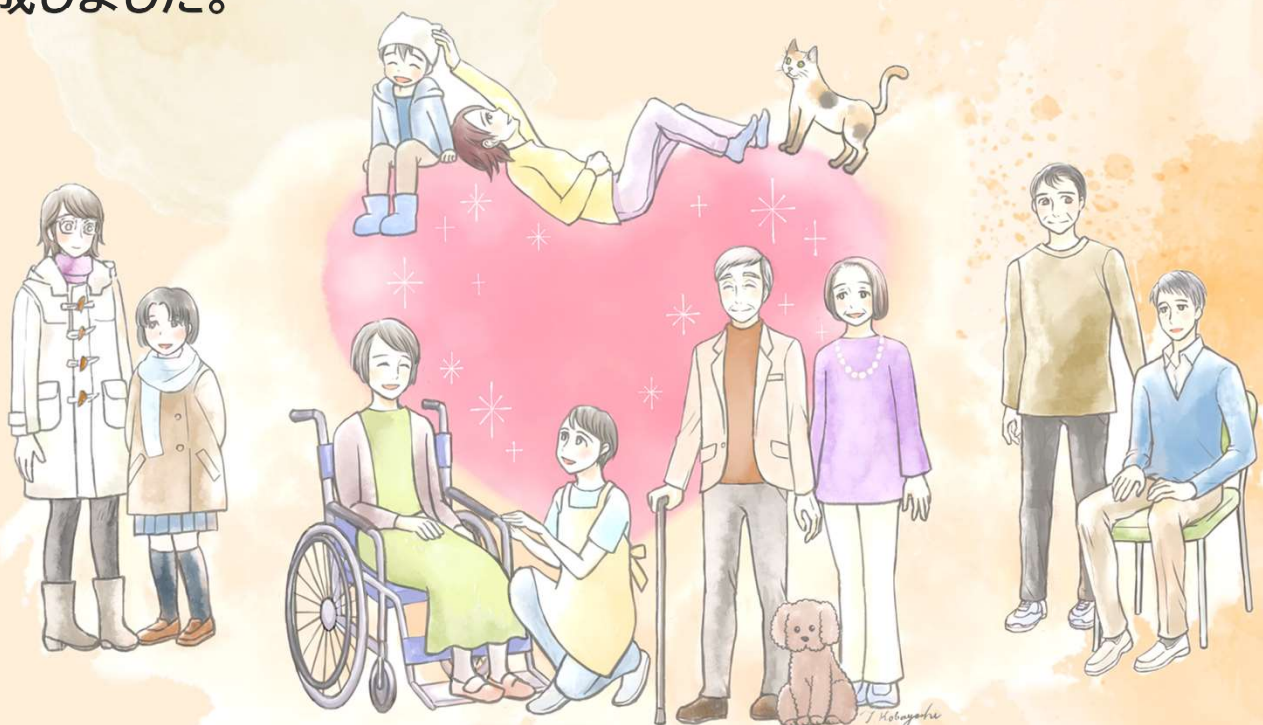


わが国の認知症の人は、2025年には65歳以上の高齢者の約20%(約700万人)程度まで増加すると推計されています。これに伴い、認知症の人を介護しているご家族の介護疲れによるうつやストレス、社会的な孤立、睡眠障害も増加していくことが懸念されています。

iSupport(アイサポート)は、認知症の人を介護している方のためのオンライン自己学習支援プログラムです。

認知症の人を介護している方の知識と技術の向上、精神的ストレスの軽減、認知症の人と介護している方双方の生活の質の向上を目指し、WHOによって開発されました。

私たちの研究グループでは、公益社団法人認知症の人と家族の会の協力のもと、iSupportを日本語に翻訳し、さらに日本の文化や介護保険制度等を反映させた*iSupport*日本版([iSupport-J](#))を作成しました。



what is iSupport - J!?

研究内容

Content



STEP1 (本研究の募集は終了しました)

[ホームページ](#)から参加申し込みしてください。iSupport-J事務局から説明文書、同意文書、同意撤回書を郵送でお送りいたします。

STEP2

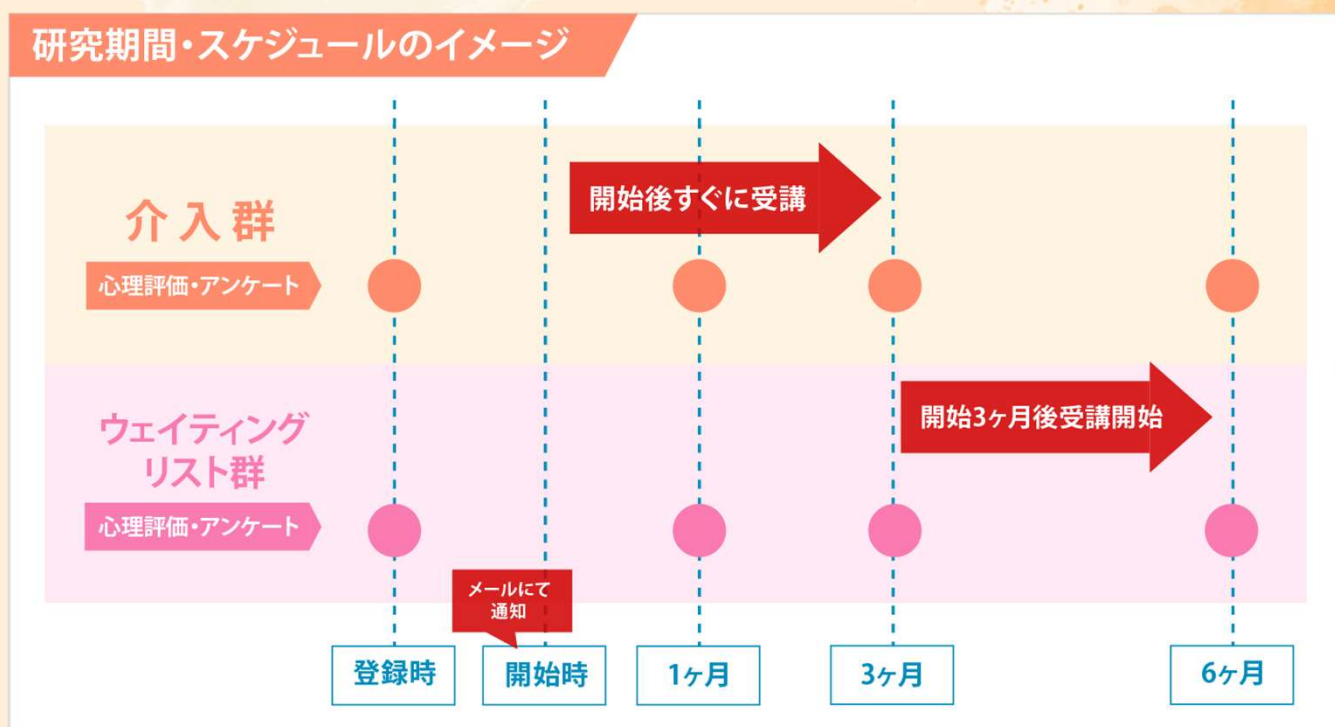
説明文書をお読みください。参考までに[動画](#)もご覧ください。この研究に参加することに同意されましたら、同意文書に自筆で署名していただき、iSupport-J事務局に郵送でお送りください。

STEP3

iSupport-J事務局に同意文書が届きましたら、ログインIDと仮パスワードをメールでお送りいたします。あなたのご自宅等にあるパソコンやスマートフォン、タブレット等からiSupport-Jシステムにアクセスし、本登録を行ってください。

STEP4

まずはアンケートと心理評価を入力してください。iSupport-J事務局で、あなたが研究参加の条件を満たしているかどうかを確認いたします。



研究内容

Content



STEP5

研究参加の条件を満たしている場合は、ランダムでiSupport-J介入群(すぐにiSupport-Jを受講できます)、または、ウェイトンリスト群(3か月間の待機期間を経た後に、iSupport-Jを受講できます)に分かれます。どちらに割りふられたかは、iSupport-Jシステムからメールでご連絡いたします。条件を満たさなかった場合は、この研究に参加することができませんので、その旨をご連絡いたします。心理評価で重度のうつ状態、不安状態にあることが疑われる場合には、iSupport-J事務局から公益社団法人認知症の人と家族の会の電話相談等をご紹介しますことがあります。

STEP6

iSupport-J介入群となった場合は、すぐにiSupport-J(e-ラーニング)を受講していただきます。受講できる期間は3か月間です。開始から1か月時、3か月時(iSupport-Jの受講期間終了時)、及び6か月時(iSupport-Jの受講期間が終了してから3ヶ月後)にアンケートと心理評価を受けてください。ウェイトンリスト群では、開始から3か月が経過した後からiSupport-Jを受講していただきます。受講できる期間は3か月間です。開始から1か月時、3か月時(iSupport-Jの受講開始時)、6か月時(iSupport-Jの受講期間終了時)にアンケートと心理評価を受けてください。



おしらせ

News Release

1. 2021年3月 参加者募集開始しました
2. 2023年6月 参加者募集終了しました



研究詳細



研究課題名

認知症介護者のためのインターネットを用いた自己学習及び心理評価プログラムの開発と有効性の検証

研究代表者

国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター病院
大町佳永

この研究は、厚生労働科学研究費補助金認知症政策研究事業と国立精神・神経疾患研究開発費により行われています

研究事務局

〒187-8551

東京都小平市小川東町4-1-1

国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター病院

iSupport-J事務局(認知症センター内)

Mail: isupportj@ncnp.go.jp

研究機関



研究協力機関

